

宍粟市報道発表（ 4 月定例記者懇談会）

発表項目	消費者月間記念映画会 『人生フルーツ』を上映		
概 要	毎年 5 月は、消費者月間です。 平成 30 年度の消費者月間では、「ともに築こう豊かな消費社会～誰一人取り残さない～」を統一テーマとして掲げ、全国で啓発事業が開催されます。 宍粟市においても下記内容で、消費者月間記念映画会を開催します。 ●作品名 「人生フルーツ」（上映時間 91 分） ●入場無料 予約不要 ●日時と上映会場 平成 30 年 5 月 12 日（土） ①午後 2 時～ 宍粟防災センター5 階ホール ②午後 6 時～ 宍粟防災センター2 階アースシアター ●作品内容 一組の老夫婦の日常に密着した素朴で味わいのあるドキュメンタリー。ナレーションをつとめるのは女優の樹木希林さん。 ふたりの暮らし方から、この国がある時代に諦めてしまった本当の豊かさへの深い思索の旅はゆっくりとはじまります。 本当に大切なものって何だろうと考えさせられる全世代におすすめの映画です。 ●その他 この映画は、市民大学対象講座です。 市民大学生の方は、しそう学びパスポートをご持参ください。		
参 考	<別紙> 記念映画会案内ちらし（カラーA4 判） 人生フルーツストーリー（A4 判）		
担当者からの お願い			
担当課 （問合わせ先）	所属 まちづくり推進部 人権推進課	担当 田中かおり	TEL 0790-63-0840

消費者月間記念映画会

人生は、だんだん美しくなる。

フルーツ人生

Life is Fruity

入場無料
(予約不要)

ナレーション 樹木希林

プロデューサー:阿武野勝彦 音楽:村井秀清 音楽プロデューサー:岡田こずえ 撮影:村田敬崇 音声:伊藤紀明 オーサラング:山口幹生 TK:須田麻記子
音響効果:久保田吉根 編集:奥田繁 協力:日本映画専門チャンネル 監督:伏原健之 製作・配給:東海テレビ放送 配給協力:東風
2016年/91分/11D/16:9/日本/ドキュメンタリー ©東海テレビ放送

津端修一さん90歳、英子さん87歳 風と雑木林と建築家夫婦の物語 life-is-fruity.com



風が吹けば、

枯葉が落ちる。

枯葉が落ちれば、

土が肥える。

土が肥えれば、

果実が実る。

こつこつ、ゆっくり。

人生、フルーツ。

日時：平成30年5月12日(土)

午後2時から

場所：宍粟防災センター5階ホール

ハートフルシネマ in しそうばる

◆同日、5/12 午後6時より、防災センター2階 **アースシアター**でも上映します。

◆市民大学対象講座です。しそう学び **パスポート**をご持参ください。



主催 宍粟市・宍粟市消費者協会

お問い合わせ

宍粟市まちづくり推進部人権推進課

☎0790-63-0840

風と、雑木林と、建築家夫婦の物語

90歳の建築家、津端修一さん(元広島大学教授、元日本住宅公団)と、87歳の妻、英子さんは、愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンに暮らしている。

津端さんは、戦後最大の都市計画ともいわれた「高蔵寺ニュータウン」の基本設計をした人物で、建築家の丹下健三やアントニン・レーモンドに師事した後、日本住宅公団の創設期の中心メンバーとして、激動の戦後日本の“住宅”、“団地”、“ニュータウン”を作り続けてきた。

津端夫妻は自ら設計をした高蔵寺に、完成当時から住み続けていて、約50年が経過した。その自宅では、50年前に植えた小さな苗木が、今では鬱蒼とした雑木林に成長し、枯葉をまいて土を耕し続けた畑では、年間を通じて約100種類もの野菜や果実が育っている。妻の英子さんは、外食はせず、コンビニで買い物しない主義。畑で収穫した作物を使って、夫のために自慢の手料理を丁寧に作る日々を送る。英子さんは言う、「食は命」と。

ふたりが暮らす家は、尊敬するアントニン・レーモンドの自邸を模した、30畳一間、平屋建ての杉の丸太小屋。食事も仕事も睡眠も、ワンルームで過ごす機能的で快適な生活である。ふたりの暮らしぶりは、まるで現代の桃源郷のよう。90歳と87歳、津端夫妻のモットーは「年を重ねるごとに美しくなる人生」。

番組のナレーションは、女優の樹木希林。70歳を超えても輝き続ける女性の代表格で、自らの人生の終末について、その発言が常に注目を集めている。

この番組では、建築家、津端修一さんと、妻の英子さん、ふたりの暮らしを追った“人生のものがたり”である。